

シライトマキバイ

(ベー貝, つぶ貝)



生態的特徴等

【生態】

オホーツク海，北海道から鹿島灘および日本海の水深100~400 m の砂泥帯に生息するエゾバイ科に属する肉食性巻貝。雌雄異体である。殻高10 cm に成長するのに約8年かかる。

【漁法と盛漁期】

本県では，主に沖合かご(7月~8月上旬)，底曳網(9月~翌6月)で漁獲される。ばいかごでは餌にイワシの切り身を用いる。

【利用】

刺身や酒蒸し，煮貝として利用される。

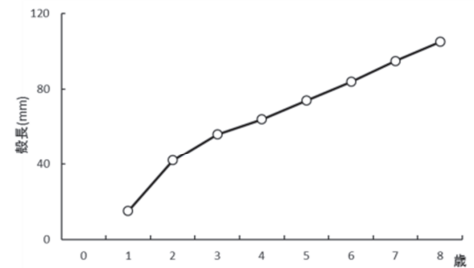


図1 シライトマキバイの成長

新規加入少なく資源は横ばい

(漁獲量) H6年には，400トを超える漁獲量があったが，その後減少し，H14年以降100~190ト前後で推移している。

(加入量) H29年のばいかご調査の結果，小型個体の数が減少傾向にあることが認められた。

(水準と動向) 資源量は漁獲量から「中位」，動向は過去5年間の調査船によるばいかご調査CPUEの推移から「横ばい」とした。

水準



動向

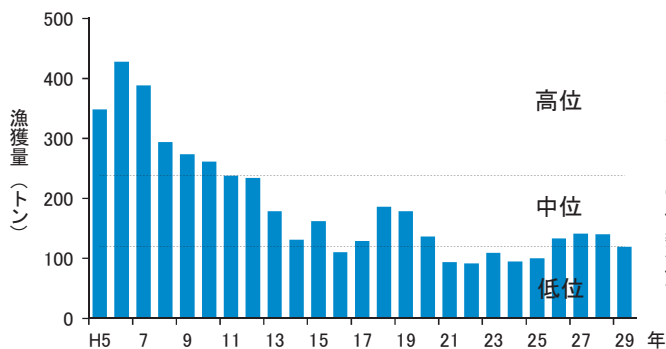
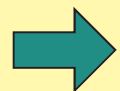


図2 シライトマキバイの漁獲量 (水試集計)

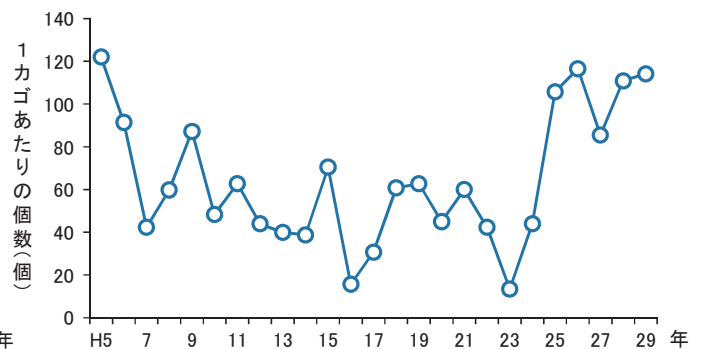


図3 シライトマキバイのCPUE (水試ばいかご調査)

【全国の漁獲動向】

- ・北海道から茨城沖が主な産地。

北海道などでは，トウダイツブガイ(エゾバイ属の総称)の名前で本種が流通している。

評価期間：平成29年1~12月 更新日：平成30年11月1日